

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

〔特集〕 多角的視点で生産性向上を図る

確認し

頭上注意

OMADA

HG 1704

Vol. 70

fisc

公益財団法人 ふくい産業支援センター



代表取締役社長 北川 聡 氏

DX で生産性を向上 社員の意識変化も促す

屋根など建築用資材の加工・販売・金属工事を手がける、株式会社北川。工場における生産性向上の実現へ、ふくい産業支援センターの福井ものづくり改善インストラクタースクール事業を活用しています。取り組みの経緯とその成果について代表取締役社長 北川 聡 氏に伺いました。

※ものづくり改善インストラクタースクール等の詳細はp 10 を参照ください。

バーコード管理を導入し 工場DXをいち早く実現

同社は2016年の新工場建設を

契機に、工場のDXにいち早く着手しました。2019年には、ものづくり改善インストラクターの派遣を受け、生産管理情報のIT化を実現。種類が多岐にわたる屋根材・壁材の生産ラインで、バーコードを使った受注伝票管理を導入しました。これまで事務員が手書きの加工指示書や納品書を工場まで届けていた作業をオンライン化し、各部門で情報をリアルタイムで共有できるようにするもので、「生産性の向上をはじめ、現場での寸法入力ミス防止にもつながり、原材料の管理でも効率化が進みました」と北川社長は語ります。

しかし、従来のやり方を変えることに、当初は社員から大きな反発があったのだとか。そこで北川社長は自身の出張に合わせて営業と工場現場の若手を連れ、全国の同業者を見学して回ったといいます。「やっぱり自分で見てみると、気づきがあります。見学したなかには当社の方が生産性が良いというケースもあり、社

員のモチベーションが高まりました。このタイミングあたりから、社員からの提案も増えてきました」と振り返ります。

現在、生産管理情報のIT化を施した同社の工場には、全国から多くの同業者が見学に訪れているといいます。「トップだけでなく、工場のメインメンバーや若手を連れて見学に来られるケースも増えていきますね」とはほ笑みます。

貴重な経験と学びを得て 変わっていく社員の意識

ものづくり改善インストラクターの派遣終了後、北川社長は社員の福井ものづくり改善インストラクタースクール受講を決めました。同社は従業員の平均年齢が43歳と若く、現在5棟ある工場にはそれぞれにチームが置かれています。その中から、各チームのリーダーが毎年ローテーションで受講を続けています。

ものづくり改善インストラクタースクールは、製造業などの現場改善の知識や手法、パワーポイントやエクセルを使ったプレゼン資料の制作など、実践的なカリキュラムが充実



屋根材は1形状1ラインの機械で成型する。

しています。「いろんな製造業の人と知り合うことができ、他者の工場を実際に見て改善を考えていくことは貴重な経験になります。受講後は、パソコンを使えなかった社員がエクセルを使いこなせるようになり、後輩に教えたりしていますね」と北川社長。成長した社員の姿に刺激を受け、「次は自分の番」と気を引き締める社員もいるなど全体的な意識の変化も感じています。「中堅社員が変わっていくと、部下や上司も変わらなっていくのではないかと考えるようになります。みんなが頑張ってくれます。すごく良い循環になっていて、今後も継続して受講していくつもりです」と笑顔



チームでの話し合いを、北川社長が見守る。

を見せます。

「人生の中で会社にいる時間が一番長いとなると、その会社がつまらなかつたら楽しくないですね。受講時は仕事との両立で大変なこともあるだろうけど、その先に達成感がある。自分自身のモチベーションや考

え方次第で、仕事への意識は変わってくると思います」と社員を見守ります。

新しい工場の完成に向け 社員と一緒に取り組んで

創業80周年を迎える2026年秋

には、新しい工場が完成する予定です。新工場と旧工場の設備や仕様、レイアウトなどを検討するにあたり、北川社長は2024年度ものづくり改善提案事業に申し込み、現在、具体化事業を推進中。6年前にもものづくりインストラクターの派遣を受けた時は北川社長が主体となつて進めていきましたが、今回は社員を巻き込み一緒に取り組んでいます。

「旧工場で取り扱う業務の半分が新工場に移転するため、それぞれの使い勝手をどうすればいいか、各工場のリー



今後、自動化を目指していきたいとのこと。

ダーが参加しインストラクターとともに話し合っています」と変化を語ります。

社員の成長は著しく、新工場に合わせ新しくコイル自動ラックの導入を考えたところ、「社員の方から見直しの提案が出ました」と苦笑い。「これまでの見学先の工場も持っているし、欲しいんじゃないかと話をしたんですが、逆に社員から導入しなくても工場が広くなれば改善次第で同じタイムで作業ができるし、ない方が作業性がいいと言われました。これまででは『なんとなく、なくていいかな』という感じだったのですが、自分たちで考えた方法で作業にかかると時間を計測して検証し、提案してくれたんです」と社員のレベルアッ

プを実感しています。

今後は、自社製品に加え、大手メーカーと業務提携を結びながら生産の請負を広げていくそう。「大手メーカーとほぼ同レベルの工場があるだけでなく、意欲ある若い社員がたくさんいるのは大きな強みです」と胸を張る北川社長。新工場完成を機に、さらなる発展を目指します。

DATA



株式会社北川

所在地
福井市問屋町 2-65
代表者
代表取締役社長 北川 聡
事業内容
建築用資材の加工・販売・金属工事
電話番号
0776-22-2694
URL
<http://www.kitagawa-grp.co.jp/>

同社HPは
コチラ！



多角的視点で 生産性向上を図る

モノづくり改善インストラクターである、松田氏に生産現場改善のポイントについて伺いました。



ものづくりの現場において、人手不足やコスト増、納期短縮など課題は多岐にわたります。これらを解決し、競争力を高める鍵となるのが「生産性向上」です。

本特集では、限られたリソースの中で生産性向上をはかることや、品質維持を行い、効率的に業務を進めている県内事業者の取り組みを紹介します。

専門家インタビュー①

生産現場の改善が未来を拓く

現状は数値化で把握する

生産現場の改善を進めるにあたり、最初にすべきことは現状を客観的なデータで把握することです。私が見てきた現場は、経営者が考える現状と実態が大きく乖離していることが殆どです。例えば経営者は「機械はフル稼働している」と答えても、段取りや調整の時間が多く、実際の稼働率は30%程度ということも珍しくありません。このように、稼働率一つとっても経営者の認識と実態が違っており、従業員との認識も一致させることが必要になってきます。

従業員に対して「改善しろ」と指示を出しても、具体的にどの・何を・どれだけ・どのように改善すればよいのか分かりません。そのため、

同じ認識が持てるものさし（データ）を従業員と共有することが改善の第一歩になります。例えば、「歩行時間が40分なので半分に短縮する」といった明確な指標があれば、従業員は日々の歩行に意識を持ち、常に課題感を持って歩くようになります。

企業の規模によって改善の進め方も異なります。小規模の現場ではトップダウンが有効ですが、一定規模以上になると現場の声を経営層が把握しきれなくなるため、従業員の力が必要不可欠です。改善のベクトルを合わせる意味でも、共通言語としてのデータ・数値化は必要不可欠になります。

また、近年は外国人実習生を活用する現場も増えていますが、彼らにも数値化は有効的です。そもそも民

Contents

Web版はコチラ！



表紙 株式会社

特集 多角的視点で 生産性向上を図る

- 1 【DXと人材育成】 株式会社
- 3 生産現場の改善が未来を拓く
- 5 【5Sで意識改革】 有トップテクノ
- 6 【現場主導のシステム導入】 株式会社山本タイヤ商会
- 7 コミュニケーションで生産性を上げる
- 8 【技術革新で効率化】 株式会社前澤金型
- 9 生産性向上につながる支援センターの研修事業
- 11 今月の注目企業 株式会社ソリッドラボ
- 13 よろず支援拠点経営Q&A
- 14 総合相談窓口からのご案内
- 15 ふくいDXニュース
- 16 中小企業産業大学校の注目研修
- 17 グッドデザイン シンキング
- 18 Start a New Project
- 19 インフォメーション
- 21 新スポット巡礼

族も価値観も違う彼らに対して、感覚的に判断基準を合わせようとすることは非常に危険です。日本人にとって「ちゃんとする」と彼らにとつての「ちゃんとする」は全く異なります。数値的な基準で把握・行動させることがポイントで、やはり数値化は様々な場面で有効になります。

教育・モチベーションの向上

生産現場の改善を始めるには、従業員が一定の知識を持っていることが大前提となります。知識が無いというのは、外国語を全く喋れないのに留学に行くようなもので、改善の効果を上げるには最低限の知識教育が必要です。

例えば生産性改善のフレームワークに「ECRSの原則」があります。

1	Eliminate (排除)	業務を排除
2	Combine (結合・分離)	類似業務やプラットフォームを結合／一元化
3	Rearrange (入替・代替)	手法や順序などプロセスの見直し
4	Simplify (簡素化)	簡素化、省力化、自動化、標準化

1. Eliminate (排除)ー業務を排除することで不要な作業を削減します。

2. Combine (結合・分離)ー類似業務やプラットフォームを統合し、効率化を図ります。

3. Rearrange (入替・代替)ー手法や順序を見直し、最適なプロセスを構築します。

4. Simplify (簡素化)ー簡素化、省力化、自動化、標準化を進めます。

この順番で取り組むとより高い効果が得られるとされています。こうしたフレームワークに従業員が知っているか否かによって議論の有効性が大きく変わってきます。日常作業の知識だけでなく、改善のための知識も必要となります。知識教育は、作業員・管理職の双方に必要で、それぞれに合わせてOff-JT (Off the Job Training: 社外研修)とOJT (On the Job Training: 職場内教育)を組み合わせて実施していくと良いでしょう。

また、日本では特に管理職の教育が不足している、もしくは全くされておらず、現場の生産性改善を阻害している要因になっています。管理職はプレーヤーの延長線上ではなく、

求められる能力・知識が全く異なる職種です。一種のコンサルタントとして、教育論や組織論、コーチングなどの知識が求められます。適切なマネジメントが現場改善を大きく進めることは言うまでもなく、管理職を育てる取り組みも併せて検討が必要です。管理職に対して外部コンサルタントやメンターを付けている企業も増えています。

従業員のモチベーション向上の第一歩には、経営層と従業員の間で目標を共有するとよいです。「生産性を上げましょう」という表面的な話ではなく、数字を共通言語とし議論・活動することが重要です。従業員に対する目標値は、従業員が関与できる数値でなければなりません。例えば「粗利」「営業利益」は従業員や自部門では関与できない要素が多く適切ではなく、「出来高」「リードタイム」「納期遵守率」など現場目標の目標設定が必要です。また、達成した場合のインセンティブ(昇給・賞与・奨励金・表彰制度など)も事前に提示できるとモチベーションの向上に繋がります。

生産現場の改善は、イベント的な

活動で完了するものではありません。継続的な改善を行うためには、現状の数値化、従業員の教育、モチベーションの向上、DXの活用など、複数の要素を組み合わせる取り組みが必要です。現場の力を最大限に引き出し、持続的な成長を実現することが、これからの生産現場に求められる課題です。

最後に、企業経営者へのメッセージとして、「困ったらすぐに相談する」ことの大切さを強調したいと思います。取引先・同業者・支援機関・コンサルタントなどを積極的に活用し、解決策を見出すことで企業の成長スピードを加速させることができます。自社の発展のために、周囲の知見を取り入れることを恐れず、前向きに改善を進めていきましょう。



まつだ ひろし
松田 博史 氏

[プロフィール]

福井鋸螺にて技術系営業として大手企業との製品開発を担当。中小企業診断士を取得し、経営コンサルタント会社を設立。数多くの公的機関の専門家を担当し、企画～製造～販売まで幅広く経営を支援。

全員参加による5 Sが 品質管理に取り組む土台に

創業以来、面状ヒーターの専門メーカーとして製造販売を行う有限会社トップテクノ。同社は品質管理に課題意識を持ち、ものづくり改善提案具体化事業を活用されました。その中でも特に同社が行った5 S（「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」）の取り組みを代表取締役の市野好一氏に伺いました。



代表取締役 市野 好一 氏

現場改善の導入 まずは5 Sから

同社は当初、品質管理をメインにものづくりインストラクターの派遣を受ける予定でした。しかし、社内会議を行う中で、基本の5 Sから始めることに方針を転換。まず作業分解を行って、改善点を洗い出し、次に体制づくり・整理・整頓の基準を明確にしたうえで、全体のスケジュール等を考えていきました。

5 Sを行うにあたって、特に苦労したのが、スケジュール管理で



左：改善後 右：改善前 物品が整理され作業効率が上がった2階の倉庫

す。当然製品の生産をストップするわけにはいかないので、いかに作業の時間を確保するかが課題であったそうです。

「5 Sを取り入れて作業効率が上がったことはもちろんですが、会社全体で取り組み、達成することで、成功体験として従業員に自信がついたことがとても良かった」と市野氏は取り組みの効果を振り返ります。改善前は小さい範囲の中に多くの設備や机が配置されており窮屈な状態でしたが、改善後はスッキリとし作業環境も改善されました。協調性がより高くなり、普段の作業から5 Sを意識する点や、若手が改善のリーダーとして率先して取り組んだことで、意識改革もできたそうです。

品質管理面でも好影響 今後も更なる改善を

今回の取り組みを通して、動線の分析や改善案について積極的な意見が出るなど、社内で改善提案できる環境に大きく変わりました。また同社が当初予定していた品質管理についても効果を実感しており、今後も継続して品質管理とその向上に取り

組まれる予定です。

「5 Sはきっかけに過ぎないが、取引先との品質管理への意識向上や、今後社内でも何か取り組み際に、社員全員で取り組む土台となった。今後も、5 S活動を維持するとともに更なる生産体制の強化を目指しています」と市野氏は力強く語ります。

DATA

有限会社トップテクノ

所在地 鯖江市吉谷町15-113-1
代表者 代表取締役 市野 好一
事業内容 各種ヒーターの設計・生産・販売
電話番号 0778-51-8727
URL <https://www.toptecno.co.jp/>



HPIは
コチラ！



66時間の作業がわずか8時間へ 現場の声を反映したシステム導入

タイヤの販売・点検・交換・保管を主軸とし、個人・法人・カーディーラー向けにサービスを提供している株式会社山本タイヤ商会。従来、紙で運用していた予約管理が、新たなシステムを導入することで車両と顧客情報の一元管理が可能になりました。ここでその事例をご紹介します。



代表取締役 若杉 誠氏

紙での顧客・案件管理によって、ミスが発生し商機も逃す

顧客情報（車番・車種・使用タイヤなど）や予約管理などを、全て紙で運用していた同社。担当者しか状況を把握できず社内での情報共有が不十分となり、連絡不足による人為的ミスが目立っていました。

書面管理の限界を感じた若杉氏は、「社員のストレスや負担を軽減し、商機を逃さずお客様に最適な商品を提案し、売上を伸ばしたい」と考えDX実践に踏み切りました。市販の予約システムでは必要な機能のカスタマイズが難しかったため、対話を重視する地元ベンダーにシステム構築を依頼。繁忙期のシステム導入は避け、試験運用を開始しました。

社員が参画し現場が本当に使いやすいシステムを実現

システム化の取り組みには社員も積極的に関わり、ベンダーとシステム内容の議論を重ね、より実用的な仕組みを構築しました。主には、タイヤ交換予約の簡素化、保管タイヤの管理、リアルタイム更新機能等の



システムを実装しました。加えて、SMS（ショートメッセージ）を活用し、顧客とのやり取りをスムーズにしたことで、車両と顧客情報の一元管理

が可能となり、大幅な作業効率化につながりました。従来、1件につき約4分かかっていた予約受付が約30秒で完了。1シーズンに約66時間費やしていた業務を、わずか約8時間に短縮できました。この結果、社員に新規案件を受け付ける余裕が生まれ、新たな法人との契約につながりました。時間的な余裕が生まれたことで、社員の働き方にも良い影響が広がったと語ります。

システムによる顧客対応の向上でディーラーとの連携強化

同社はパソコン操作に慣れている社員が多く、会社全体が顧客対応改善に一丸となって取り組むことで、成果が上がっています。今後は帳簿

との連携システムを追加することで更に改善を目指します。

継続的に売上を伸ばすために、「今後はディーラーの販売支援に力を入れたい。ディーラーがタイヤ交換と保管のサービスを見込み客に伝え、契約に結びつける手段として活用してほしい」と若杉氏。さらに、本予約管理システムをトラック向けに応用することで、法人顧客を増やすビジョンも見据えています。

DATA

株式会社山本タイヤ商会

所在地
福井市勝見 3 丁目 21-3
代表者
代表取締役 若杉 誠
事業内容
タイヤの販売、点検・交換、保管等
電話番号
0776-24-2006
URL
<https://yamamoto-taiya.jp/>



HPIは
コチラ！



コミュニケーションで生産性を上げる

生産性向上とコミュニケーションの関係性や組織力の強化について、社会保険労務士でキャリアコンサルタントの中村まゆみ氏にお話を伺いました。

アソシエメンタルオフィス合同会社

所在地 福井市板垣4丁目903-7
代表者 代表 中村 まゆみ
事業内容 研修の実施、キャリアコンサルティング、カウンセリング、人事制度の構築、労務コンサルティング
電話番号 0776-33-2974

HPIは
コチラ！

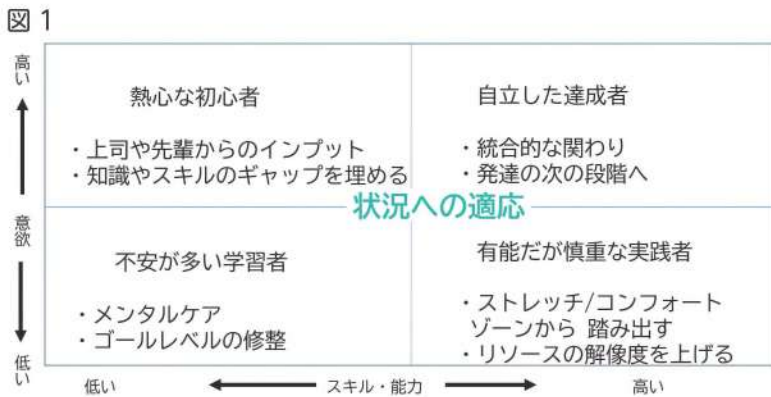


アソシエメンタルオフィス合同会社
代表 中村まゆみ氏

特集 多角的視点で生産性向上を図る

信頼とコミュニケーションの重要性

職場において「報・連・相（報告・連絡・相談）」が徹底されることは、生産性向上に大きく貢献します。情報共有がうまくされれば業務のミスが減り、効率が向上します。更には、職場内で切磋琢磨しながら新たなアイデアを生み出すきっかけにもつながるでしょう。



社員がどこの位置にいるか管理職は把握しなくてはならない

人的資本としての育成と組織の強化

企業における人材の捉え方は「資源」から「資本」へと変化しつつあります。従来は、従業員を会社の資源として管理し、効率的に活用することが重視されてきました。しかし、

「報・連・相」は、単純業務実行の手段ではなく、職場の心理的安全性を高め、より良い職場環境を築くための重要な要素です。

また、制度の導入だけではなく、従業員の意欲や成熟度に応じた指導をするうえで、従業員が「自分事」として業務に取り組むようにするためには、組織のビジョンやミッションと個人の目標をすり合わせる必要があります。

「報・連・相」が徹底される土台として、職場における人間関係が重要です。上司は下の意見を尊重し、部下は上司を信頼できる環境がなければ、効果的なコミュニケーションは生まれません。そのために、One-on-One会議等の制度を活用し、個々の従業員の意欲や能力/適性に応じた指導が求められます。（図1）

これからの時代は、従業員相当の価値を引き出し、企業の成長につなげることが求められています。

企業の使命やビジョンに共感できるかどうかは、従業員のモチベーションに大きく影響します。ただし、会社の目指す方向性と個人の目標が完全に一致するとは限りません。そのため、共通言語を設定し組織を強くすることが重要になります。企業文化、企業の目標や人事評価基準を共有し、日常業務に浸透させることで、組織内の意思疎通がスムーズになり社員が同じ方向を向いて働けます。

今後は、従業員のモチベーションやエンゲージメントにつながるよう、働く意義やキャリアの方向性について対話を重ね、個々の成長を支援することが重要です。

組織を変革するには時間とエネルギーが必要ですが、柔軟な対応と継続的な改善を行うことで、強い組織をつくることができます。人材を「資本」としてとらえ、育成に注力することで、企業の持続的な成長と生産性向上が実現できるのではないのでしょうか。

3D 技術で進化する ものづくりの生産性向上

眼鏡用金型の製造から射出成形品の量産まで一貫生産している株式会社前澤金型。

樹脂製眼鏡フレーム用として金属3Dプリンタを使った実用可能な金型を県工業技術センターと共同で開発しました。これまでの経緯等について、工場長の井上 治氏にお話を伺いました。



井上 治氏

3Dに特化した金型設計で 効率化を実現

同社は2021年に金属3Dプリンタで製造した金型を開発。眼鏡のような細長い形状の製品では、金型が冷えていると、樹脂を流す途中で固まってしまうため、金型内部に温調配管を入れる必要があります。この温調配管を金属3Dプリンタで設置することで、以前より生産性を向上、不良率を低減させました。

3Dプリンタを活用し、金属粉末をレーザーで固めながら成形する手法は、従来の削り出しとは異なり、材料の無駄を削減したり複雑な形状を一体で作れる点が利点でコスト削減が期待できます。しかし、レーザー焼結による積層造形は金属が歪みやすく、金型の精度に影響を及ぼします。そこで、成形した金型が十分な冷却性能を発揮するか、コストなど眼鏡製造において本当にメリットがあるのかの検証が必要でした。

今回新たに開発した金型はスリット構造を導入。3Dに特化した金型設計をすることで、金型の生産コストを従来の金型と同等程度まで低減

しつつ前回の金型と同様に冷却時間を約30%短縮し、不良率を80%削減することに成功しました。

未来を見据えた技術革新と 地道な開発姿勢

同社では3D技術は15年以上前から注目、研究してきましたが、実際の産業利用にはコストや精度の課題がありました。そのため、最初は金型全体ではなく、小型部品や消耗部材から導入を進めました。今回の眼鏡業界への応用も、長年の研究と検討の結果であり、従来の製造方法を根本から考え直すところからのスタートでした。

このプロジェクトの成功の裏には、工業技術センターとの連携や補助金を活用した研究開発がありました。



DATA

株式会社前澤金型

所在地
鯖江市石田上町 51-11-1
代表者
代表取締役社長 玉田 隆則
電話番号
成形部 0778-53-2586
金型部 0778-52-6091
URL
<https://www.maezawa-mold.jp/>



HPIは
コチラ！



特に、金型の反りを90%軽減する技術や生産サイクルタイムを低減させる工夫は、今後の製造業全体に変化をもたらす可能性を持っています。今後も前向きに研究開発と生産活動を続けることで、より高品質な製品を効率的に生産し、産業全体の競争力向上に貢献していきたいと考えています。

今回の特集「生産性向上」のテーマにあったふくい産業支援センターの研修事業をご紹介します！

詳細は QR コードよりご確認ください。

○中産大研修

(会場：福井県中小企業産業大学校 ☎ 0776-41-3775)

管理職のための 1on1 ミーティング活用法

Z世代が育ってきた時代背景や価値観を知ること
で、育成のポイントをつかみます。さらに実践を
通して、部下のキャリア開発を促す効果的な 1on1
ミーティングができるようになることを目指しま
す。

日 時：令和7年8月22日(金) 9:30~16:30

対 象：管理者・リーダー

・ Z 世代が持っている「仕事の価値観」
について知りたい方

・ 1on1 ミーティングを導入予定の方

受講料：22,000 円 (税込)

定 員：20 名

好業績チームを生み出す チーム力アップセミナー

業績に貢献するチームづくりの基礎を学ぶ。現在
のチームの見直しを図り、チーム力を向上させる
力を養います。

日 時：令和7年12月9日(火) 9:30~16:30

対 象：中堅社員 (リーダー・リーダー候補)

・ メンバーのモチベーションを向上させ
たい方

・ チーム一体となって業績向上を目指し
たい方

受講料：22,000 円 (税込)

定 員：25 名

＼詳細はこちら／



その他、様々な階層別の研修や職種・業種別研修を実施しています。

○IT 研修

(会場：福井県産業情報センター ☎ 0776-67-7411)

Power Automate Desktop

入門編

ツールの使い方を学び、Excel データの転記や単
純な Web データの抽出など、簡単な自動処理を体
感します。

【日時】

・令和7年6月24日(火)~25日(水)

・令和7年9月2日(火)~3日(水)

各10:00~17:00

定 員：各 10 名 受講料：19,580 円(税込)

実践編

多くの企業で共通して行われるような業務を想定
したケーススタディを通して、自動化システムを
作る実践力を養います。

【日時】

・令和7年7月10日(木)~11日(金)

・令和7年10月7日(火)~8日(水)

各10:00~17:00

定 員：各 10 名 受講料：19,580 円(税込)

Python

Python 全般

日常業務でありがちなシナリオをベースに、
Python を使って簡単な自動化プログラムを作る方
法を学びます。

【日時】

・令和7年5月14日(水) 9:00~17:00

定 員：12 名 受講料：14,960 円 (税込)

Python × Excel

Excel ファイルの読み書き、データ編集、反復作
業などを自動化させる Excel に特化したプログラ
ムを作る方法を学びます。

【日時】

・令和7年7月2日(水)~3日(木)

10:00 ~ 17:00

定 員：12 名

受講料：19,580 円 (税込)

＼詳細はこちら／



その他、Word や Excel の研修から Photoshop、Canva、WEB マーケティング
関連のセミナーまで、様々な IT 関連の研修を実施しています。

○オンデマンド型リスキリング

(担当：福井県中小企業産業大学校 ☎ 0776-41-3775)

オンライン学習サービス「Udemy Business」を利用して、社会人基礎力・経営マネジメント・簿記会計・スピーチプレゼン力・英語学習・IT 資格などビジネスに必要なスキルやノウハウを学べる講座を、好きな時間に好きな場所で受講できます！

対 象：県内企業の従業員（育児・介護休暇の方も歓迎）、個人事業主、求職者、学生等

受講料：～10,000 円（税込）

受講期間等、詳細につきましては、内容が確定次第、ホームページにて公開いたしますので、ご確認ください。

＼詳細はこちら／



○DX スクール

(担当：新産業支援部 ☎ 0776-67-7411)

DX 人材を育成するリスキリング研修です。企業の課題や受講者の能力に合わせた学習計画の策定から、基礎から実践力養成までの学習プログラムや振り返りを行い効果的な学習をサポートします。

「業務効率化コース」「集客・売上向上コース」「経営戦略コース」の 3 つのコースを準備しています。

対 象：①県内に本社を持つ中小企業・個人事業者で就業中の者（使用者、従業員を問わない）

②求職者および県内に本社を持つ企業に就職を目指す大学生、専門学校等高等教育機関の在校生

受講期間：令和 7 年 8 月頃～令和 8 年 2 月頃 受講料：25,000 円（税込）

令和 7 年度 製造業等の現場改善制度をご紹介

(担当：福井県中小企業産業大学校 ☎ 0776-41-3775)



○第 10 期ものづくり改善インストラクタースクール

以下の課題を解決すべく、知識教育と現場実習での実践により生産現場の改善活動リーダーを育成します。

- ・人手不足に対応するため労働生産性を向上させたい
- ・生産現場改善を推進するリーダーを育成したい
- ・会社の付加価値を高めるために現場改革を行いたい

特 長：講義・演習・現場実習からなる中小企業の生産現場のためのカリキュラムです。

東京大学名誉教授・早稲田大学教授の藤本隆宏氏のものづくり理論をベースにしたオリジナルテキストを使用します。

期 間：令和 7 年 6 月 26 日（木）～ 10 月 23 日（木）18 日間

応募対象：生産管理・品質管理・生産技術・製造監督などの経験があり、ものづくりに関する予備知識を有する方

募集人数：12 名 受講料：企業従業員 250,000 円（税込） 企業 O B 50,000 円（税込）

○ものづくり改善インストラクター派遣事業

ものづくり現場改善を行いたい企業に対して、インストラクターを派遣します。経営者・現場の皆様の協力を得てインストラクターが中心となり、専門家の目から見た生産性向上のための課題発掘と改善提案を行います。

対 象：派遣により改善効果が期待できると判断する、福井県内に事業所を有する中小企業・小規模事業者

回 数：5 回以内 派遣費用：1 回 30,000 円（税込）

○ものづくり改善提案具体化事業

現場リーダー育成のための実践教育として、インストラクターを派遣します。幹部・中堅社員とインストラクターが一体となって改善に取り組み、「リーダーが主体的に実践する改善活動」が社内に定着することを支援します。

対 象：福井県内に事業所を有する中小企業・小規模事業者

派遣回数：原則 10 回まで 活動期間：5 か月程度 負担額：1 回 40,000 円（税込）



代表取締役 黒田 悠生 氏

今月の注目企業

再生プラスチックを 価値ある製品に

株式会社ソリッドラボ

福井市にある「トンカンテラス」は、3Dプリンターやレーザーカッターなどの道具を使って、ものづくりができる工房です。工房を運営する株式会社ソリッドラボ代表取締役黒田悠生氏は、実家の環境や自身の経験を生かし、新たな形での事業展開に挑んできました。今回は、黒田氏に創業のきっかけや事業の現状、今後の展望について話を聞きました。

Uターンとものづくりの再発見 実家の環境を生かしたプロジェクト

黒田氏がトンカンテラスを立ち上げるまでの道のりは、福井と東京での経験に支えられています。大学卒業後、福井に本社を置くプラスチックメーカーに就職し、東京支店で6年間勤務しました。しかし、業務を続ける中で「大量生産の製品は本当に社会の役に立っているのだろうか？」という疑問を抱くようになったそうです。

そんな折、病気の父親を気遣い福井へ戻るきっかけを探りつつも「福井には何もない」と感じていました。福井市が主催する事業創造プログラ

ムに参加したことで「自分が知らなかっただけで福井には面白い人がたくさんいることを知りました。ワークショップで生まれたアイデアがトンカンテラスの原点になりました」

実家には建具職人だった祖父が残した道具や作業小屋があり、ものづくりをするには最適な環境が整っていました。「工房を開くことで、病気で外に出かけられない父も地域とつながることができる。そして自分が本当にやりたかったものづくりができる」と考えた黒田氏は、工房の構想を練りスタートさせました。

2022年1月に正式に創業し、4月には工房をオープン。金曜と土曜のみの営業ですが、老若男女関わ

ず集い、それぞれのものづくりに励みつつ会話を楽しむ交流拠点としての役割を強めてきました。



子供向け土日に開催しているワークショップの様子



株式会社ソリッドラボ

住 所：福井市高木中央 1-1501

代 表 者：代表取締役 黒田 悠生

事業内容：ものづくり工房「TONKAN terrace (トンカンテラス)」の運営、リサイクル関連事業（アップサイクル製品の設計開発、環境教育、マテリアルリサイクルの実演等）、3Dプリンター・レーザーカッター等を使用した製品の製造及び販売

U R L：<https://solid-lab.jp/>

同社HPは
コチラ！



再生プラスチックで新たな製品へ

**再生プラスチックを活用した事業展開
意欲と関心を持つ企業からの依頼増**

ソリッドラボが作り出す製品のひとつに、廃材や再生プラスチックを活用した製品があります。海岸で回収したプラスチックごみをポリプロピレンやポリエチレンに選別し、洗浄・色分けを行った上で再利用の原料にします。その後さまざまな道具を駆使し、オリジナルの一点ものに仕上げます。ものづくり環境の構築にあたっては、福井の企業と連携して小型の粉碎機や100ボルト電源で稼働する射出成形機を開発。展示会やイベントで実演したところ、関心を寄せる企業が現れ、商談につな



海洋プラスチックごみ回収の様子

がるケースが増えていきました。

「大量生産を前提としたプラスチック企業では難しいことも、小ロットの生産であれば可能になります。例えば、多少の色ムラがある再生材でも、デザインとして生かせる場合があります。同社では過剰な品質を要求するのではなく、使い手に喜ばれる、新しい価値を持つ製品を生み出しています。

同社が手がけたものの例として小浜市の公衆トイレのサインや、福井コーヒーフェスティバル2024のイベント看板、企業の周年記念ゴルフメーカー、音楽イベントのオフィシャルグッズなどが挙げられます。デザイン性の高いアップサイクル製品は企業や自治体などから注目の的です。

「このような受注が増えている背景

には、地域に根ざしたもののづくりができる会社が少ないという現状があります。大量生産ではなく、小ロットで一つひとつにこだわった製品をつくることから「しょう」と黒田氏。これこそが同社の強みと言えるでしょう。

アップサイクルを当たり前に必要なものを自らの手で作る

同社は今後、ECサイトの充実を図り、再生材を使った製品の企画・製造を本格化させていく方針です。また、開発した粉碎機や射出成形機、金型を全国の地域に広めることで地域内のプラスチック循環を促していきたいという思いを黒田氏は持っています。

大量生産ではなく、必要なものを必要な分だけ作る。それが、環境負荷を抑えた持続可能なものづくりにつながる。そして頼れる人が活躍できる地域拠点がある。「自分で自分の暮らしを作る文化は、ごみを出さない生活に繋がるのではないか」と先を見据えた黒田氏のお話が印象的でした。

海洋プラスチックごみの
製品作成過程



よろず支援拠点 経営Q&A

個人事業主の事業承継とは？

個人事業は事業と個人が一体であるため、事業承継と同時に財産・契約・税務などの対応も必要となります。ご相談では、事業継続の有無を含めた承継の可否を踏まえ、事前準備の重要性や円滑な承継の対応についてご説明しました。解決のポイントとしては事業承継として捉えるのではなく、後継者が新たに開業するイメージを持つと理解しやすくなると思います。

◎事業承継の方法について

個人事業の事業承継には以下の3つの方法があり、どの方法を選択するかで手続きや準備が異なります。

<個人事業の事業承継>

1. 親族内承継（家族に引き継ぐ）
2. 従業員承継（従業員に引き継ぐ）
3. 第三者承継／M&A（外部の企業や個人に売却）

また、事業承継を機に個人事業から法人化し、株式を後継者に譲渡することで承継する方法も検討材料の一つとなります。

個人事業では事業資産と個人資産が混在しやすく、経営者の急な死亡や引退により事業が休止してしまう可能性もあります。特に「親族内承継」では相続問題も考慮し、事前に事業用資産（設備・在庫・事業用口座など）のリストアップや、借入金・未払金の確認を行い、財産と負債を明確にしておくことが重要です。債務を引き継ぐ場合は、承継者の同意も必要となります。

◎事業承継に際して行う行政への手続きに関する基本事項

個人事業は法人とは異なり、「経営権」と「財産権」が事業主個人に属します。そのため、事業承継時には、関係する行政機関に対し、現事業主と後継者の双方が手続きを行う必要があります。税務面では、税務署や都道府県税事務所に廃業届と開業届を提出し、営業許可等についても同様の手続きが求められます。

<税務・会計上の手続き>

- ・廃業届の提出（個人事業主が廃業する場合）
- ・開業届の提出（新しい個人事業主が開業する場合）
- ・青色申告の引き継ぎ（条件を満たせば引き継ぎ可能）
- ・相続税・贈与税の確認（親族に承継する場合）

その他、税務面においては事業に必要な店舗や機械などの資産を、現経営者から後継者に、相続・贈与や売却などの方法で承継する場合にも事業資産所有の移転に伴う手続き等が必要となります。

また、許認可や資格についても、事業に必要な許認可や資格が承継可能か確認し、承継者が新たに取得する必要がある場合は、事前に準備を進める必要があります。



相談の概要

これまで父が行ってきた事業を継続するかどうかについて検討したいと思っています。個人事業の事業承継をする場合に注意する点はあるですか？

◎事業資産の承継におけるポイント

その他、ご相談の内容には事業資産の承継（譲渡）面が多く、ご相談頂いた内容と回答のポイントについてご紹介させていただきます。

<事業資産譲渡のポイント>

- (1) 不動産などの無償譲渡でも、みなし譲渡所得課税が適用され、所得税の対象となる。税法上は「時価で譲渡した」とみなされるため、税負担に注意する。
- (2) 固定資産を引き継がない選択として、事業用資産を前任者が所有し続け、後継者が借り受ける形も可能（賃貸借契約等の手続きは必要）です。
- (3) 相続と贈与の関係では、生前贈与の方が死亡後の相続よりも、資産移転の手続きや対策構築が容易となります。

➔個人版事業承継税制活用の検討

個人版事業承継税制は、後継者が事業用資産を贈与や相続で取得した場合、一定の条件下で贈与税や相続税の納税が猶予され、後継者の死亡などによりこの猶予が免除される仕組みです。

■まとめ

個人事業の事業承継は、法人の事業承継とは異なり、資産・負債の引き継ぎや税務処理、金融機関との連携など、多岐にわたる対応が必要です。

税務・財務・手続きのポイントを押さえ、生前贈与や減価償却の活用、金融機関との調整を行うことで、スムーズな承継が可能になります。

事前の準備と専門家のアドバイスを受けながら、適切な計画を立てることが成功の鍵となります。福井県よろず支援拠点のご活用をお勧めいたします。

■ 個人版事業承継税制 パンフレット



■ J-NET21ビジネスQ&A 個人事業主の事業承継について、 税務上の留意点がありますか？



福井県よろず支援拠点では、専門家が各種経営相談に無料で応えています。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先



福井県よろず支援拠点

TEL: 0776-67-7402

E-mail: yorozu@fisc.jp



「頑張る県内中小企業」の課題解決をサポートします！

よろず経営相談うけたまわります！

月曜日	 北島 宏樹 【専門】経営全般、創業支援、IT活用、テレワーク導入 【資格】中小企業診断士、ソフトウェア開発技術者(IT系) 【得意分野】ソフトウェア開発技術者の資格も持ちITを活用した経営改善提案や、ITに関する各種補助金のご提案や申請のサポートができます。
火曜日	 佐藤 悟 【専門】経営全般、創業支援、IT活用、労務、事業承継 【資格】中小企業診断士、社会保険労務士、販売士1級、1級FP技能士ほか 【得意分野】創業計画書の作成支援や開業手続き、補助金の活用方法など創業から企業の成長段階への支援を行います。また事業承継に関するご相談にも的確にお応えします。
水曜日	 津田 均 【専門】経営全般、マーケティング、流通・小売・サービス業の相談 【資格】中小企業診断士、福井県6次産業化プランナー 【得意分野】6次産業化プランナーとして農業経営に関する様々な相談や6次産業化への支援に強みがあります。また観光産業に関する相談事例に豊富な経験があります。
木曜日	 佐々木 孝美 【専門】経営全般、創業支援、IT活用、SNS活用、事業承継 【資格】中小企業診断士ほか 【得意分野】女性の創業に関する相談実績が豊富です。また企業内のお金の見える化や損益分岐点など資金分析を寄り添いながら行います。
金曜日	 友田 和幸 【専門】経営全般、省エネコンサル(カーボンニュートラル)、人事、労務、事業承継 【資格】中小企業診断士、社会保険労務士 【得意分野】企業の省エネ対策やカーボンニュートラルに対する取り組みへの支援に豊富なノウハウがあります。また社会保険労務士として、企業内の人材活用もサポートもできます。
夜間相談	 和田 裕行 【専門】経営全般 【資格】中小企業診断士、情報処理技術者 【得意分野】毎月1回の夜間相談を行います。創業計画の作成や補助金のご相談等の支援に関する相談に対応いたします。

経営相談の他にも、経営に役立つミニセミナーを開催。補助金の情報や、決算書の見方、創業計画の策定など、幅広く実施しています。(開催日、詳細についてはHPにて掲載します。)

ミニセミナーポイント **30分で説明! オンライン受講も!**

- ① 経営の基本・各種支援制度やトレンドを分かり易く説明!
- ② 気軽に参加できる!

火曜日	 松田 博史 【専門】経営全般、環境改善、生産管理、事業承継 【資格】中小企業診断士、ものづくり改善インストラクター 【得意分野】ものづくりインストラクターとして現場改善や生産管理にも精通しており、企業のニーズに合った補助金の情報提供や、申請から補助事業完了後も、充実したフォローアップができます。
〔嶺南〕水曜日	 前野 壽伸 【専門】経営全般、生産管理・生産技術、6次産業化支援 【資格】中小企業診断士 【得意分野】嶺南地域での企業支援実績が豊富です。製造業の生産管理や生産技術に関する相談から小売業、農業経営まで幅広い相談に対応できます。
木曜日	 大森 健 【専門】経営全般、創業支援、マーケティング 【資格】中小企業診断士、販売士1級ほか 【得意分野】営業現場、営業企画部門での経験を活かし、御社の売上拡大、販路開拓は勿論、営業戦略の策定、実行等、持続的な成長を支援します。
金曜日	 門野 正志 【専門】経営全般、創業支援、マーケティング 【資格】中小企業診断士ほか 【得意分野】嶺北/嶺南地域での相談対応を行います。飲食業やサービス業における営業分析、戦略立案や経営資源の管理を得意としています。
スポット相談	 加藤 永俊 【専門】経営全般、創業支援、マーケティング、経営革新、事業承継 【資格】中小企業診断士、JMAA認定M&Aアドバイザー 【得意分野】創業からマーケティング、M&Aなどの事業承継まで企業の成長段階に応じて幅広い支援のご提案ができます。また、各種補助金の申請支援もできます。

経営に関するお悩みごとは「総合相談窓口」まで、お気軽にご相談ください!

嶺北 《事前予約制》

☎ **0776-67-7421**

※コーディネーターの当番日は右記の総合相談窓口HPからご確認いただけます。事前予約の方優先の対応となりますのでご予約をお勧めします。

嶺南 《事前予約制》

☎ **0770-22-0031**

※水・金曜日：総合相談コーディネーター、火曜日：よろず支援拠点のコーディネーターが相談対応しております。
ご予約がない場合は、企業訪問等で不在にしている場合がありますので面談希望の場合は事前予約をお願いします。

相談日時：毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00

相談場所：福井県産業情報センター 3F
総合相談窓口
(坂井市丸岡町熊堂 3-7-1-16)

相談日時：毎週 水曜日・金曜日
9:00～17:00

相談場所：アクアトム 2F 嶺南サテライトオフィス
(敦賀市神楽町 2-2-4)

総合相談窓口
ホームページ



相談予約は
こちらから!

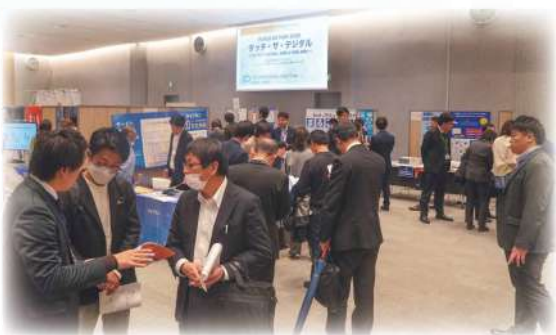


今回は、2月26日・27日の2日間にわたり開催されたデジタルツールの展示会
「FUKUI DX FAIR 2025」の様子をご紹介します。

ふくいデジタル推進アライアンスが デジタルツールの展示会を開催

**多種多様なデジタルツールを体験でき
延べ約400名が来場**

ふくいデジタル推進アライアンスは、2月26日・27日の2日間の日程で、デジタルツールを実際に見て体験できる展示会「FUKUI DX FAIR 2025 ～タッチ・ザ・デジタル～」を開催しました。テーマは「バックオフィスから現場まで様々な業務で活用可能なデジタルツール」とし、会計・経理や勤怠管理、人材育成、輸出入支援ツールなど、多種多様なデジタルツールを体験できる場となりました。2日間で延べ約400名の方々にご来場いただき、会場は盛況でした。



ふくいDXオープンラボも 相談窓口として出展

ふくいDXオープンラボも、デジタル活用や補助金に関する相談窓口として本イベントに出展しました。予想以上に多くの方にご来訪いただき、さまざまなご相談を受けることができ、とても喜んでいただいたのが印象的でした。さらに、デジタル以外の相談や質問も多く寄せられ、ふくい産業支援センターの他の支援施策や、他の支援機関で活用できる施策についてもお紹介しました。



ふくいデジタル推進アライアンスは 皆さまのデジタル活用を支援します

ふくいデジタル推進アライアンスは、今後もこのようなイベントを開催し、県内企業の皆さまのデジタル活用を支援いたします。また、こうした取り組みに賛同し、県内企業のデジタル活用推進を共に支援する賛同会員も募集中です。賛同会員としての入会にご興味のある方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

連携体概要

ふくいデジタル推進アライアンス

目的：県内企業のデジタル化の推進および
県内産業活性化の支援
運営会員：福井県
一般社団法人福井県商工会議所連合会
福井県商工会連合会
株式会社福井新聞社
公益財団法人ふくい産業支援センター
株式会社福井銀行
発足年月：2024年5月
U R L：
<https://www.fukui-dxlab.com/fdaa/>



お問い合わせ先

ふくいデジタル推進アライアンス 事務局(ふくいDXオープンラボ)
TEL : 0776-67-7404 E-mail : dxlab@fisc.jp

令和7年度 人材育成研修

新規研修を紹介します

階層別研修編

「新人・若手社員」向けの新研修

新人・若手社員の目的意識を高め、成長実感を得られる研修の充実を図りました。社員の潜在能力や可能性を最大限に伸ばすことを目指します。

自分なりの解・意見の 考え方

開催日：5月27日(火)
受講料：22,000円(税込)

ポイント

ネット検索が習慣化した現代、自分の意見を持ってない人も多くいます。自立した社会人として必要になる、自分なりの「最適解」の導き出し方と伝え方を学びます。

ビジネスに求められる 人間関係構築

開催日：6月5日(木) **オンライン**
受講料：16,500円(税込)

ポイント

ビジネスにおいて求められる円滑な人間関係に焦点を当て、心理学の理論を活用した良好なコミュニケーションの構築方法を学びます。

仕事の質とスピードを高める 「4つの力」向上セミナー

開催日：6月6日(金)
受講料：22,000円(税込)

ポイント

質とスピードを両立した仕事を実現させるため、①読み解き力、②段取り力、③さばき力、④巻き込み力 の4つの力を向上させ、自律型ビジネスパーソンを目指します。

新人・若手社員向けの ロジカルシンキング入門講座

開催日：6月20日(金) **オンライン**
受講料：16,500円(税込)

ポイント

物事を論理的に捉えて整理する「ロジカル思考」を学び、自分で自分のまわりの問題解決ができるスキルを習得します。
※実践編講座あり(11/13)

プレゼンテーション ～基礎となる3つのスキル～

開催日：7月1日(火) **オンライン**
受講料：16,500円(税込)

ポイント

良いプレゼンテーションの3つの要素を解説し、聴き手にとって分かりやすく、そして納得を引き出す伝え方について学びます。
※実践編講座あり(10/8)

アイデア発想力を高める ビジネス思考法

開催日：11月5日(水) **オンライン**
受講料：16,500円(税込)

ポイント

ときに、常識に縛られない柔軟な発想力が求められるビジネスシーンで、頭を柔らかくして、自由に、新たな視点で問題解決する方法を学びます。

「管理者、リーダー、中堅社員」向けの新研修

ビジネスを前進させるため、リーダー層の社員に必要なスキルを身につける研修を増やしました。短時間に手軽に受講できるオンライン講座も注目です！

会議の生産性を高める ファシリテーション

開催日：7月9日(水) **オンライン**
受講料：16,500円(税込)

ポイント

会議やミーティングにおけるファシリテーションの役割と機能を理解し、会議を円滑に進めるための基本的なスキルを習得します。

戦略的思考トレーニング ～ビジネスで勝つための考え方～

開催日：8月27日(水) **オンライン**
受講料：16,500円(税込)

ポイント

効果的な戦略シナリオを考えるための5つの着眼点を解説し、ビジネスをより俯瞰的・戦略的に捉えるためのヒントを学びます。

ビジネスプレゼンテーション力 向上セミナー

開催日：10月8日(水)
受講料：22,000円(税込)

ポイント

プレゼンテーションのカギを握る“伝え方”に重点をおき、演習を重ねることでビジネスのあらゆるシーンで活かせるトーク術を習得します。

お申込み・お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 人材育成部

〒918-8135 福井市下六条町16-15

TEL：0776-41-3775 (研修担当) E-mail：manabi@fisc.jp

ホームページからも申込みOK▶
<https://www.fisc.jp/fiib/course.html/>





GOOD DESIGN

第59回

福井県のグッドデザインを紹介
グッドデザインシンキング



2024 グッドデザイン賞

メガネ MAXIS MXU-221 / 株式会社エクセル眼鏡

製造時やリサイクル時の環境への負荷に配慮したメガネです。製造工程と表面処理工程を見直し、CO2排出量を抑える事にチャレンジしました。また、耳掛け部の先端(円柱部分)がレンズとバランスを取ることで快適なかけ心地を生み出しています。

まず耳掛け部の円柱形状の製造工程についてです。チタン部品は、スウェーピング加工→プレス加工という流れが一般的ですが、この円柱状のデザインはスウェーピング加工だけで作られているので、製造時のCO2排出量を抑える事ができます。また、このデザインはおもりのような役割も担っていて、レンズとの重量バランスをとって、快適なかけ心地を生み出します。

次に、表面処理工程についてです。金属に表面処理をする主な目的は、色をつける「カラーリング」と、腐食や傷から守る「コーティング」の2つです。しかし、チタン素材は腐食や傷に強いのでコーティングは必要ありません。表面処理をしない事で、製造時のCO2排出量を抑えたメガネをつくりました。表面処理をしない事はリサイクルにも有益です。リサイクル時に表面処理をはがして素地の状態に戻す工程が必要なくなり、CO2排出量を抑える事ができます。

【審査委員の評価】

無垢のチタンと綿花由来のアセテートという限られた素材の組み合わせのみで、シンプルでありながら、魅力あるデザインバリエーションを展開している。一般的に中間処理加工として使用されるスウェーピングのディティールが、製品の快適なフィッティングへとつながっている点が高く評価された。製造工程と表面処理工程の丁寧な見直しによって、環境負荷への配慮を実現するという、真摯な製品作りの姿勢を評価したい。

VTuberを通じて 福井をデジタルコンテンツの拠点に

株式会社 glow

デジタル技術の発展により、クリエイターの活躍の場が大きく広がっています。株式会社glowは、福井県初のVTuber育成プロダクションとして、独自の育成システムを確立しながら、地域の魅力発信や企業のPRにも貢献しています。

VTuber を通じたクリエイターの育成と支援

福井をはじめとする地方ではVTuberの活動環境が十分に整っているとはいえないのが現状です。そういった現状を打破しようと福井県初のVTuber育成プロダクションとして誕生したのが、今回ご紹介する株式会社glowです。

同社は、一般的なプロダクションとは異なり、VTuberを単なる動画配信者ではなく、デジタル技術を活かしたクリエイターとして育てるというアプローチをとっています。同社が運営する仮想空間の学校「学窓ハクメイ」では、所属VTuberが3年間の研修を受け、表現力や配信スキルを習得します。現在、11名が所属し、今年3月には1期生が卒業します。



学窓ハクメイのトップ画面

デジタルをとおしてリアルに貢献

また、福井県越前市の公認VTuberを運用し、地域の魅力を発信。歴史ある観光地や地元の特産品をテーマにした動画を制作し、視聴者からは「訪れなくなった」「地元の魅力を再発見できた」といった声が寄せられています。さらに、観光地での音声ガイド導入や企業リクルート活動への活用も進め、VTuberを活用した企業説明会では、参加者数の増加や企業ブースでの滞在時間の延長といった成果が出ています。



越前市公式VTuberの若紫まいさん(左)と紫式部さん(右)

福井をデジタルコンテンツの拠点に

代表の嘉門さんは「VTuberを通じて福井をデジタルコンテンツの拠点にしたい」と語り、その実現に向けて、地域企業と連携したプロモーションや採用活動を強化することで、デジタル分野の雇用創出や経済活性化にも意欲的です。AIを活用した動画制作やリアルタイムアバター操作の最適化など、デジタル技術の革新にも力を入れており、「Throwin」という投げ銭システムを開発し、飲食業などの人材確保にも活動範囲を広げています。

デジタル技術の活用と未来展望

同社の取り組みは、クリエイター支援だけでなく、地域のデジタル人材育成や経済活性化にもつながる挑戦です。VTuber関連の技術者や動画編集者の育成を進め、地元企業との連携による新規雇用の創出にもつながっていくと期待されています。

地方から世界へ発信する新しいビジネスモデルとして、引き続き同社のチャレンジに要注目です。

〈企業情報〉

- 企業名：株式会社 glow
- 代表取締役 CEO：嘉門 大助
- 所在地：坂井市丸岡町熊堂 3 号 7 番地 1-16
福井県産業情報センタービル 7 階
- HP：<https://glow-hakumei.com/>
- 電話：0776-67-7403



ふくい
ベンチャー創出プロジェクト
Fukui Venture Creation Project

産業支援センターでは成長意欲のあるベンチャー企業を支援しています。
活動内容は、ふくいベンチャー創出プロジェクトのHPをご覧ください。
<https://www.s-project.biz/>



ふくい産業支援センターの新年度の施策をご紹介します！

※ 2025 年 3 月 18 日時点。詳細は順次 HP 等でご案内いたします。
予告なしに変更にある場合もございますが、何卒ご了承ください。

福井型スタートアップ・ 新事業創出助成金

県内産業の活性化を図るため、県内の成長意欲が高い事業者への成長支援や地域のベンチャー支援に加え、大学等研究シーズなどの先進的分野の取組に対して、その経費の一部を助成します。

- 対象：県内に主たる事業所を有する中小企業等
- 助成率：2/3以内
- 助成限度額：300万円
- 募集予定：令和7年4月～5月頃

集客力アップに向けた 課題解決応援事業助成金

北陸新幹線開業効果を県内に広く波及させるため、観光客の受入れにかかる課題の解決につながる飲食店や土産品等の店舗改装等に対する経費の一部を助成します。

- 対象：県内に主たる事業所を有する中小企業等
- 助成率：1/3以内
- 助成限度額：150万円
- 募集予定：令和7年4月～5月頃



ふくいの逸品創造ファンド事業

県内の中小企業者等が、繊維産業、眼鏡産業といった地場産業をはじめとする地域の産業が培ってきた技術、海山の豊かな農林水産物、歴史伝統など地域の特色ある観光資源等の「ふくいの強み」を活かした商品開発や販路開拓事業について、その費用の一部を助成します。



- 対象：県内に主たる事業所を有する中小企業等
- 条件：(ア) 地域資源を活用し北陸新幹線利用者や関連製品等に向けた新商品・新サービスの開発および販路開拓
 - ◎助成率：中小企業者1/2以内
小規模企業者2/3以内
 - ◎助成限度額：200万円
 - (イ) 地域資源を活用し直近3年以内に商品化・新たに開始したサービスの販路開拓
 - ◎助成率：中小企業者1/2以内
小規模企業者2/3以内
 - ◎助成限度額：100万円

お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター 経営支援部

TEL: 0776-67-7406 FAX: 0776-67-7419 E-mail: shikin-g@fisc.jp

デザイナー派遣事業

具体的な商品開発のデザイン、販売促進のデザイン、展示会の企画デザイン依頼など、デザイナーを活用して具体的な商品開発・販売戦略に取り組む中小企業のみなさんのためのプログラムです。

○対象：デザインを活かした経営の向上を目指す県内中小企業等

○費用：具体的な実務指導を行う派遣費用として費用の1/2を支援センターが負担します。

1回33,400円(税別)のうち、自己負担は1/2

○利用回数：1企業あたり6回以内

お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター

デザイン振興部

TEL: 0778-21-3154 Email: dcf@fisc.jp

ふくいDX加速化補助金

デジタルツールを活用し、生産性向上や業務改革を進める企業、または、その取組とともに新たなビジネスモデルの構築を目指す企業を支援します。

○対象：県内中小企業者、小規模事業者

○補助率：1/2以内(小規模事業者2/3以内)

○補助上限額：400万円

○募集予定：第1期 令和7年4月1日(火)

～5月30日(金)

第2期 令和7年7月1日(火)

～7月31日(木)

お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター

新産業支援部 DX推進グループ

TEL: 0776-67-7416 E-mail: dx-g@fisc.jp

産総研シーズ活用可能性試験調査研究支援事業

産総研(産業技術総合研究所)の技術シーズを活用した実用化の可能性を探索するために取り組む事業を支援します。

○対象：県内に本社または主たる事業所を有する企業

○補助額：産総研への相談訪問上限30万円、産総研シーズによる調査研究上限55万円

○補助率：中小企業2/3、大企業1/2

次世代技術国際発信支援事業助成金

国際感覚を有する技術者育成のため、県内中小企業が海外における学会・展示会等へ若手技術者・研究者を派遣する際の経費を助成します。

○対象：県内に事業所または工場を有する中小企業の45歳以下の技術者・研究者

○助成額：上限30万円

○助成率：1/2

お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部

TEL: 0776-55-1555 FAX: 0776-55-1878

話題の

新スポット巡礼

県内企業が打ち出した気になる新スポットにFACT編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

No.42



02glee

ゆったりゆったり 心安らぐひと時を

北潟湖のほとりの小高い丘にカフェがあります。2023年12月にオープンし、めでたく1周年を迎えた、“02glee”の店長 木村育恵さんにお話をうかがいました。

“日常生活から少し離れ、ゆったりとした時間を過ごせるように”をコンセプトにしたこちらのカフェでは、自家製ジェムを使用したスイーツや地元の野菜をふんだんに使った具たくさんスープなど、健康的でどこか落ち着く料理を味わうことができます。お店の2階には、お子さん連れにも嬉しい小上がりスペースや国定公園の一部である北潟湖を望むカウンター席があり、最大40名ほどが利用できるそう。県内外を問わず、たくさんの人々が訪れているようで、「地元の方が散歩がてら立ち寄ってくれたり、県外からツーリングや温泉で北陸へ来た方が足を延ばしてやって来る人が多いです。」と木村さん。続けて、「石川と福井とを回遊できる位置にある北潟湖で挑戦したくてお店を開きました。お子さん連れのご家族でも安心して食べてもらえるように、食材にもこだわった料理を提供しています。ゆっくりと過ごせる場所としてこれからも変わらずにお店を続けていきたいです。」と木村さんは語りました。

活用事業：福井県よろず支援拠点

ご来店
お待ちしております！



02GLEE

02glee (ぜろつーぐりー)

所在地：あわら市北潟 152-66-3

休業日：月曜日

URL：https://www.instagram.com/02glee/

F-ACT読者アンケートにご回答下さい

皆様が日頃関心をお持ちの事柄やご要望をお伺いするアンケートを実施します。下記の方法にてご回答いただきますようお願い申し上げます。

ご回答いただいた方の中から抽選で10名様に特典をお送りします！

※回答時間は2～3分です。

1. ご回答方法

(1) Web でのご回答：右のQRコードからご回答をお願いします。



(2) 同封のアンケート用紙によるご回答

→郵送または、FAX でご返送ください（同封の返信用封筒をご利用ください）

FAX 番号 0776-67-7429 まで

2. ご回答期限 令和7年4月30日

※集計の都合上、期限内のご回答にご協力をお願いいたします。

令和7年度からF-ACTが変わります！！

ぎゅっと内容を詰め込んでお届けします！

<主な変更点>

- ・F-ACT 本誌 ページ数 16P（現 24P）、
- ・企業情報メール便の送付先 約 1,800 件（現 1,700 件）、
- ・チラシ同封サービス料金：下の囲みをご覧ください。
- ・裏面広告料金 55,000 円 [税込]（現 49,500 円 [税込]）

<概要>

【発行日】奇数月 25 日発行（隔月発行）

【発行部数】3,400 部

【ページ数】16 ページ（予定）

【発行先】県内企業・組合（約 2,300 件）、県各部署・出先機関、業界団体、
県内各産業支援団体、県内金融機関各支店など

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

企業情報メール便

販路開拓のチャンス！
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便（チラシ同封サービス）を毎月実施いたします。配送先は、県内事業所約 1,800 社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



●次回実施号

VOL.71 5月26日発行予定

チラシ提出締切日：5月16日（金）

チラシ 1,800 部をご提出

（持参または配送）をお願いします。

	同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
料 金	A4 判以下のチラシ	9,900 円
	A4 判超～A3 判以下のチラシ （二つ折にして A4 判以下のサイズにすること）	13,200 円
	A4 判以下のパンフレット （10 ページ程度まで）	16,500 円

※チラシ・パンフレット 1 種類当たり 1 回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。
1 号につき約 10 社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先

（公財）ふくい産業支援センター One to One サービス推進部 F-ACT 担当

TEL:0776-67-7425 E-mail: kouhou-g@fisc.jp

本誌に関するお問い合わせは



公益財団法人 ふくい産業支援センター

One to One サービス推進部

TEL 0776-67-7425/E-mail: kouhou-g@fisc.jp

〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16（福井県産業情報センタービル内）

皆様の声を
お聞かせください！！

「〇〇が面白かった、ためになった」、
「△△をもう少し□□にしたらどうか」、
「●●のテーマについて紹介して欲しい」、
「▲▲会社がやっている■ ■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様の
ご意見をお待ちしております。

E-mail: kouhou-g@fisc.jp

編集後記

こんにちは！最後まで読んでいただきありがとうございます。

本号では、「多角的視点で生産性向上を図る」と題して、ものづくりに関わる企業様を中心に取材してまいりました。人手不足が深刻化する中、今後どのように生産性を向上させるのか大きな課題です。生産性向上の解決策の1つにDXがあります。来年度も支援センターではDX関連の施策を含めて、様々な支援施策を用意しております。是非ご活用ください。今回お届けした内容がお役に立てば幸いです。

取材にご対応いただいた皆様には、改めて御礼申し上げます。

また、今号には読者アンケートを同封しております。皆様の意見をお寄せください。

今年度を振り返ると新幹線が開業や生成AIの発展等大きな変化の年となりました。皆様もその変化を少なからず感じられているのではないのでしょうか。次号5月の発刊（予定）よりF-ACTも変わりますが、引き続きご愛読のほど、よろしく願いいたします。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

01.

全国ネットワーク支援

全国ネットワークで、
企業間の連携をサポート。

47都道府県に広がる店舗網や、7万社以上のお客さまとのリレーションを活かし、商工中金はビジネスマッチングや事業承継・M&Aなど、企業の結びつきをサポートします。

02.

組合支援

中小企業組合の活動を、
情報と金融でサポート。

個々の企業では解決しきれないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、組合運営のフォローや情報提供、ご融資まで、組合活動を継続的にサポートします。

03.

海外展開支援

海外進出を、情報と金融で
継続的にサポート。

海外拠点や現地の政府機関、提携金融機関とのネットワークを活かし、商工中金はお客さまの海外進出検討段階から現地での事業拡大ニーズまで、幅広くサポートします。

福井支店 〒910-0005 福井市大手3-14-9 TEL:0776(23)2090

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金